

も り み ん だ よ り

第80号

令和8年2月5日発行

広島県 安芸太田町議会



安芸太田町議会
ホームページ



今年も「地域みらい留学」の加計高
卒業生が参加してくれたよ！
手作りの横断幕まで持参してくれて
うれしいなあ！



12月定例会で決まったこと!

12月定例会を終えて



安芸太田町議会議長

中本 正廣

今期定例議会は12月5日に開会し、12月8日、9日の2日間が8名の議員による一般質問を行いました。

議案の審議では「損害賠償額の決定」、「町道の路線変更」、「条例の制定及び一部改正」、「公の施設の指定管理者の指定」、「令和7年度会計補正予算」、さらに12月11日には追加議案として、道の駅再整備事業における「事業契約の変更」が提出されました。追加議案を含む、合計19議案を審議いたしました結果、各議案すべて原案どおり可決されました。

また、会期中における委員会では、地方創生調査特別委員会にて「道の駅再整備事業」の経過状況や「筒賀拠点施設整備事業」の実施方針についての報告を求め、議論いたしました。

会期：令和7年12月5日～12月11日（7日間）

議案番号	件名	採決
議案第60号	損害賠償の額の決定について（団体内統合宛名クラウドサービス利用契約解除）	全会一致
議案第61号	損害賠償の額の決定について（広島県市町基幹業務クラウドサービス利用契約解除）	〃
議案第62号	損害賠償の額の決定について（戸籍総合業務システム機器賃貸借契約解除）	〃
議案第63号	町道の路線変更について	〃
議案第64号	安芸太田町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	〃
議案第65号	安芸太田町職員の給与に関する条例及び安芸太田町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	〃
議案第66号	安芸太田町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	〃
議案第67号	児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について	〃
議案第68号	安芸太田町公の施設の指定管理者の指定について（グリーンスパつつが）	〃
議案第69号	安芸太田町公の施設の指定管理者の指定について（杉の泊ホビーフィールド）	〃
発委第1号	安芸太田町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	〃
議案第70号	令和7年度安芸太田町一般会計補正予算（第5号）	〃
議案第71号	令和7年度安芸太田町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	〃
議案第72号	令和7年度安芸太田町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第3号）	〃
議案第73号	令和7年度安芸太田町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	〃
議案第74号	令和7年度安芸太田町介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）	〃
議案第75号	令和7年度安芸太田町病院事業会計補正予算（第1号）	〃

12月定例会・1月臨時会で決まったこと!

議案番号	件名	採決
議案第76号	令和7年度安芸太田町簡易水道事業会計補正予算(第3号)	全会一致
発議第3号	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書の提出について	否決
発議第4号	非核三原則の堅持を求める意見書の提出について	//

賛否の分かれた議案の表決結果について

議案番号等	議員名										
	笠井清孝	田島清	宮本千春	末田健治	大江厚子	佐々木道則	影井伊久美	大江昭典	小島俊二	津田宏	中本正廣
発議第3号 女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書の提出について	○	○	●	○	○	●	●	●	●	●	—
発議第4号 非核三原則の堅持を求める意見書の提出について	○	○	●	○	○	●	●	●	●	●	—

※【○賛成 ●反対】

議案第70号 令和7年度安芸太田町一般会計補正予算(第5号)

一般会計歳入歳出に92,925千円を増額し、歳入歳出予算総額を9,207,699千円に増額
※可決

【歳入の主なもの】	【歳出の主なもの】
・国庫補助金 1,663千円	・人事院勧告対応 54,239千円
・起債等 3,402千円	・道路維持管理事業 14,300千円
・一般財源 87,860千円	・林道施設管理事業 5,000千円
	・急傾斜地対策事業 5,200千円
	・その他 14,186千円

■道の駅再整備事業関連議案

●議案第77号 事業契約の変更について(道の駅再整備事業)

契約金額を2,150,000千円から、2,290,000千円に増額
※可決

●議案第63号 町道の路線変更について(町道井出瀬線)

全長350.7メートルから、252.2メートルに変更(コンビニエンスストア移転に伴う変更)
※可決

●議案第70号 令和7年度安芸太田町一般会計補正予算(第5号)

債務負担行為の補正 ※道の駅再整備事業

令和8年第1回臨時会 議案採決結果

議案番号	件名	採決
議案第1号	令和7年度安芸太田町一般会計補正予算(第6号)	全会一致



末田 健治 議員



田島 清 議員

8人の議員が質問・提言

一般質問は、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。1人当たりの持ち時間は、答弁を含めて60分です。12月定例会では、12月8日、9日の2日間8人の議員が質問を行いました。

番号	議員名	質問内容（抜粋）
1	宮本千春	<ul style="list-style-type: none"> ●町内ショッピングセンターの存続対策について ●持続可能な公共交通の確保について
2	小島俊二	<ul style="list-style-type: none"> ●合併浄化槽の更新・修繕補助金の創設について
3	末田健治	<ul style="list-style-type: none"> ●地域計画の推進について ●森林環境譲与税と今後の林業施策について
4	大江昭典	<ul style="list-style-type: none"> ●人財育成について、PFI事業について ●コミュニティスクールと地域一帯協働活動について ほか
5	笠井清孝	<ul style="list-style-type: none"> ●安芸太田町における外国人の状況と今後の対応について ●安芸太田町の教育について
6	影井伊久美	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの権利について
7	大江厚子	<ul style="list-style-type: none"> ●安芸太田病院事業について ●非核三原則の見直しについてどう考えるか
8	田島清	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者の補聴器購入費助成について ●空き家対策（特定空き家）について ほか



宮本 千春 議員

問

加計のショッピングセンターの将来像は



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。

町長

持続可能な地域の中核施設として維持していく

■加計のスーパーの存続対策について

問 加計のスーパーの動向や地域拠点としての将来像の検討はどうなっているか。

答 町長

事業者から、撤退に関する申し入れやその際の条件的なものがあったという事実はありませんし、そのような思いは持っていないと思います。将来像については、一義的には運営主体である組合において、施設の建替等も含めてどう考えているのかということが前提になるが、ショッピングセンターが町民にとって欠くことのできない生活インフラであり、この施設を持続可能な地域の中核施設として維持していくという認識の下、必要に応じて行政として出来ることはしっかり支援していきたい。

問 ショッピングセンターと役場機能を合わせた複合施設を設置する考えはないか。

答 副町長

現時点においては、運営上の課題や財政の問題等も含めて、行政主導で、そういった複合施設を建設する考えは持っていませんが、今後、組合の方から具体的な相談等を受けることがあれば必要に応じてこういった取組みが出来るか考えていきたい。

加計小学校150周年記念



加計小神楽部



加計小神楽部



人文字

■持続可能な公共交通について

問 町内の公共交通に対する今後の方針や自動運転等の新技術を検討されているか。

答 企画DX課長

町内バス路線の1人1運行あたりの町の負担額はもりカーよりも大きく、町民にとってもりカーのほうがより便利であるという判断から、今後はもりカーへの移行を基本としています。

自動運転車両の導入については、今年度、広島県の「公共交通への自動運転導入支援事業モデル地域」に採択され、11月に実現可能性の調査結果の報告を受けました。引き続き、本町における自動運転の導入の可能性について、調査・検討を進めてまいります。

その他の質問事項 PTA、学校運営協議会、自治会等が連携するための対応は 他



合併浄化槽更新・修繕補助金 創設の検討結果は



小島 俊二 議員

建設課長

- ・更新補助について、次年度に向け、現在前向きに検討を行っている
- ・修繕補助は、修繕費用等の実態調査を行い、慎重に検討する



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。

■合併浄化槽更新・修繕補助金の創設

問 合併浄化槽の更新及び修繕補助金の創設について、新年度に向け、予算編成の中で検討すると答弁されている。令和8年度当初予算の編成作業が進む中で、合併浄化槽の更新に対する補助制度の創設について、どのような方針で検討を進めているのか。

答 建設課長

合併5町合同で広島県へ合併浄化槽整備設置補助事業の拡充について、緊急要望を提出しました。このような要望活動を進めながら、町でも次年度は、合併処理浄化槽の更新補助につきまして、現在前向きに検討を行っているところです。

合併処理浄化槽の修繕補助金については、修繕にどの程度の費用を要しているのか等の調査を行い、慎重に検討を続けていきたいと考えています。



フロア等の修繕補助金の創設を！

■町内主要交差点等への防犯カメラ設置

問 安芸太田町の防犯カメラの設置について、前回の一般質問では町として検討するとの答弁があったが、検討の結果、令和8年度予算計上の方向性はあるのか、具体的な推進状況について問う。

答 総務課長

主要道路交差点への防犯カメラ設置は、一定の区切りがついたものと受け止めておりますが、今後は、隣接市町との交通結節点である戸河内松原の交差点、上久日市の安水橋交差点、澄合交差点に設置検討が必要と認識しているところです。





末田 健治 議員

問 地域計画の推進については



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。

産業観光課長

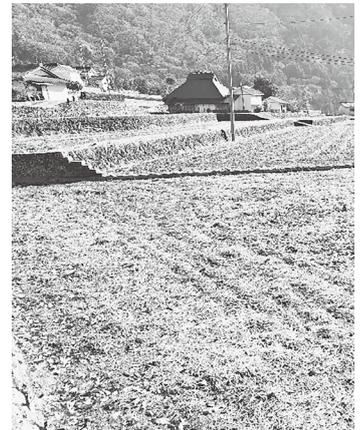
地域で話し合いをすすめ次世代へバトンを渡す

問 安芸太田町は法定計画である地域計画を令和7年3月に町内10区画に分け策定された。そのうち、坪野から津浪の計画推進について問う。

また、当地区の85歳以上農業者の農地面積35.1ha、農業を担う者が引き受ける面積0ha、後継者不在農地面積2.1haの現状についてどのような対策が考えられるか。

答 産業観光課長

地域計画は10年後の農地利用の方向性を示す計画です。守るべき農地については、既存経営体の規模拡大に支援が可能か、新規就農者の募集、集落営農団体がある地域については、法人化の提案をしたいと考えています。



耕作が行われ維持されている水田

問 実体は作付けが出来ないと思われる農地が増大していくと予想され、有害鳥獣の出没が加速し、地域の疲弊に繋がる。この対策はどのように考えるか。

答 産業観光課長

当地区においてもUターン、ご家族の方が農業を始められるという事例もあり、新規就農取組みを継続し、地域で話し合いを進めながら、次の世代へバトンを渡す時期と考えています。

問 今後地域計画を着実に進める方策について、町長の方針を問う。

答 町長

地域計画は大変難しい問題です。将来の農地の在り方について、話し合いを継続していかなければならないことが課題であり、継続的に見直すものと思っています。そのうえで、小規模認定者、新規就農者を増やすことが何より重要な取組みと思っています。



管理が必要な林相

問 森林環境譲与税は、令和元年度から市町村に対して譲与され、間伐や人材育成、木材利用促進に充てられ、令和5年には国の総額で500億円を譲与。安芸太田町には令和6年度7126万8千円が譲与されているが、活用戦略を問う。

答 産業観光課長

本町は手を付けていない森林の管理権を所有者から町に経営権を移行して間伐などの施業を実施し、災害に強い森林をつくるため、令和2年度から意向調査による間伐を実施しました。自伐型林業に着目し、林業従事者の受け入れ支援を行っています。

問

町長に、組織の課題と人材育成の方向性を問う



大江 昭典 議員



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。

町長

コンプライアンス認識と業務上のスピード感・時間管理が重要

■人材育成について

問 人材育成において、問題・課題事項を認識していないと、的確な育成の方向性や、実施形態も見えてこないと考える。

現在の安芸太田町行政における、課題事項を問う。

答 町長

組織の課題として、コンプライアンスの問題を常に意識しており、ルールに従った業務執行は、町民の信頼関係にもつながると思っております。

また、限られた職員数の中で、業務過多傾向の中、仕事を進める上でのスピード感・時間管理も重要課題であると思っております。



問 業務における指導助言体制について、また職員への育成教育体制の進行状況を問う。

答 副町長

コンプライアンスを含めて、求められる責任、課題への向き合い方、仕事を進める上での時間管理や目標の立て方等を中心に、それぞれの立ち位置に応じて、日常業務を正確かつ効率的に進めるための方法論やポイントについて研修しました。

一方で、要点を相手に簡潔に伝える説明力、また、予期せぬ事態を想定したリスクマネジメントへの対応力等、今後受講したいテーマの要望も出ています。

人材育成は、町政運営の基盤であるという認識のもと、研修の質を高めながら、引き続き、職員とともに成長していける環境づくりに努めてまいりたいと考えております。

●大江昭典議員

今の時代、職員一人一人の多様性、これに沿った対応が重要である。

取組みの形骸化、慢性化はないか？ 職員の反応を含む効果について認識しながら、引き続き重要事項としてとらえ、取組まれない。



笠井 清孝 議員

問

人口増につながる三つのテーマについて問う



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。

町長

町内の企業、団体での雇用、安芸太田町らしい教育を活かし、新・道の駅を新規雇用での移住定住を増やしていきたい

■外国人移住について

問 安芸太田町の企業、組織でも外国人雇用が増えてきている。定住を目的にした外国人移住についての考えを問う。

答 町長

移住定住で人口を増やしていかなきゃいけないという我々の状況から考えると、むしろ歓迎をしていきたいです。そのためにも、外国の方が移住される体制作りをしていかなければならないと思っています。

■新・道の駅への町長の思いについて

問 令和9年オープン予定の新・道の駅を成功させる為の町長の熱い思いについて問う。

答 町長

道の駅は安芸太田町にとって、産業、観光の起爆剤だと考えています。そして、町民の皆様の活躍の場になるようにしていきたい。

また、目標値である入場者数100万人、売上6億円が達成できるように、新規雇用や移住定住を含めて、しっかり準備をしております。

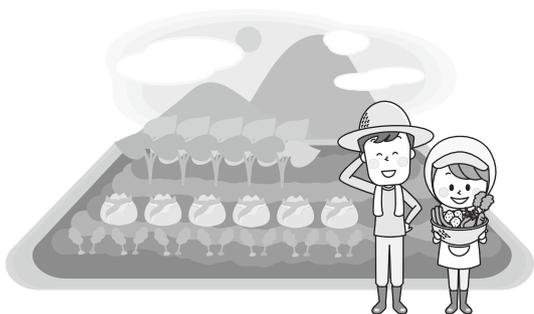


■わが町の特徴を活かした教育での移住・定住について

問 安芸太田町の特徴を活かした教育での移住・定住についての考えを問う。

答 町長

昨年作成した教育大綱を軸に、現在実施している園児向けの森の学校の推進、安芸太田町の自然での体験を活かした教育の実践などにより、安芸太田町の教育の魅力が移住・定住につながるようにしていきたいです。





理念の共有である「子ども条例」を制定する考えは



影井伊久美 議員

教育長

県の条例制定等の動向を注視し、タイミングを図りたい



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。

■子どもの権利について

問 保護者や地域全体で子どもの権利について意識や機運を醸成するような取組みはなされているか。

答 教育長

教育委員会ホームページの「教育長室から」という形で幾つか取上げて、町民の皆様には発信はしているものの、学校以外での取組みは十分とは言えないのが現状です。関係機関などと協働し、発信の方策を練っていきたいと考えています。

問 子ども自身が子どもの権利を知る取組みはなされているか。

答 教育長

各学校におきましては、人権教育推進計画のもと、各教科、道徳、特別活動、生徒指導等と関連づけながら、発達段階に応じて人権教育を実施しています。

問 子どもの権利について、教職員への研修はどのようにされているか。

答 教育長

正直申しますとその辺の教育研修が非常に不十分であるというふうに考えています。次年度は職員向けの研修を実施する予定にしています。

問 子ども施策を進める上で、理念を各課で共通する土台となる安芸太田町子ども条例を制定するお考えはないか。

答 教育長

保護者、住民、議会、行政の責務の分担を明文化するといった意味では、基本情勢が足りていないと感じています。安芸太田町教育振興基本計画などに基づいて、子どもの人権に関する取組みを推進しつつ、県の動向を注視し、タイミングを図りたいと考えます。

答 町長

条例の制定そのものによって逆に機運が醸成するという部分もあるというのを感じました。

教育委員会と相談しながら、タイミングを図っていきたいと思っています。

取組みを進めるに当たって重要なのが組織をつくるということで我々も知恵を絞らないといけないと思っています。理念が重要なのもよく分かりますので、できるだけ早い段階でつくるべきだという御指摘ももっともです。





大江 厚子 議員

問 診療所の廃止は、無医地区をつくることになるのでは



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。

町長

病院との統合を基本とし、当面は継続

問 安芸太田病院の体制と経営状況について伺う。

答 病院事業管理者 24時間365日の救急対応体制を維持し、県北西部唯一の入院施設として僻地拠点病院の機能を担っています。令和7年度は診療報酬据え置きの中、人件費や委託費、物価高騰、また患者数減少により厳しい見通しです。

問 戸河内診療所についてはどうか。

答 病院事業管理者 体制は、診療所所長、常勤看護師1名・非常勤看護師2名、常勤の検査技師1名、会計年度事務職員2名です。

答 健康福祉課長 患者数の減少に伴い収益も減収となっています。

問 安芸太田病院事業在り方検討委員会の設置の趣旨について伺う。

答 健康福祉課長 令和15年を見据え、町民に安全・安心な医療を提供するため、病院事業の在り方を検討します。

問 中間報告の内容は？

答 健康福祉課長 取りまとめた内容は九つで、病床数の3割程度削減、診療科の見直し、土曜日の休日体制移行、戸河内診療所は将来的には安芸太田病院に集約移行することが望ましい等です。

問 中間報告説明会で出た意見のうち、職員体制について伺う。

答 病院事業管理者 令和15年を見据え、病院規模縮小に対しては自然減で対応し、困難な部分は配置見直しやタスクシフトで対応します。

問 戸河内診療所について伺う。地域住民や地域内にある各福祉施設にとって重要な役割を担っており、また当該地域の範囲は広く、診療所廃止は実質的には無医地区をつくることにつながる。

答 町長 限られた財源と人材の中で医療機能を維持するため、診療所は病院との統合を基本とし、一方で地域の要望や診療所所長の意向も踏まえ、当面は継続しつつ、最終的には行政として判断します。



戸河内診療所

■非核三原則の見直しについて

問 9月定例会で、「非核三原則の見直し」提言についての質問に、町長から「そのような方針はあり得ないこと」との答弁があった。現在、首相が見直しを検討しているとの報道があるが、考えは。

答 町長 国政の問題ではあるが、個人として思いに変わりはありません。

問

高齢者の補聴器購入費補助について



田島 清 議員



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。

健康福祉課長

極めて優先度の高い課題であると深く認識をしている



健康寿命の延伸



殿賀大盆踊り大会（講堂）

問 地域の活動を支える元気な高齢者の日常生活に支障となる聴力低下の方を多く見かけます。高齢者の社会参加を促し、認知症やフレイル予防を図るための制度が求められると考えるがどうか。

答 健康福祉課長 本町の場合は、医療機関や補聴器店の移動が都市部と比べて困難であるため、単に現金を給付するだけでなく、相談から購入、そして調整までを円滑に行えるような、実情に即した仕組みを構築する必要があると考えています。

先行して実施している他市町の運営状況等を詳細に調査研究して、関係機関とも協議を行いながら、制度化に向けた検討をしていきたい。町民の半分以上が高齢者である本町において、極めて優先度の高い課題であると深く認識をしております。高齢者の尊厳に関わる問題でもあり、心身ともに健やかに、過ごせることが大事であります。認知症や、健康寿命の延伸につながる補聴器の活用ができるよう改めて、町としても持続可能な支援について、改めて考えていきたい。

■空き家対策特定空き家について

問 大分市の佐賀関で11月18日夕方大規模火災が発生した。

当時新聞やテレビなどの報道で、これまでに民家などの170戸以上に延焼木造家屋の密集や空き家の存在も原因との報道もあった。町の現状と課題について答弁を求める。

答 地域協働課長 空き家調査で954件、そのうち管理や物件状態がよくないと判断した物件が239件ありました。特定空き家に限って、実態把握をするということもそろそろ必要な措置かなというふうに思っております。

■黒い雨被爆では、新たな制度の開始から2年半が経過したが本町の現状及び今後の見通しについて

問 本年度の申請状況について答弁を求める。

答 健康福祉課長 11月末現在で黒い雨を要件とした申請が666件、そのうち、632件被爆者健康手帳が交付されました。本年度も20件申請がありました。

問 申請却下事案に対する対応の現状についてうかがう。

答 健康福祉課長 これまで同様に、申請者に寄り添った対応をしております。実際に再申請をされて、新たに手帳候補になられた方が、本町でも1件ありました。

広聴広報調査特別委員会と加計高校生で 意見交換会を実施しました!!

令和7年10月21日（火）3時間目、意見交換を始める前に議会の仕事や議員について知ってもらう事前授業を行ないました。パワーポイントを作成し、委員全員で分担し説明を行ないました。



説明後「議員の仕事は楽しいか」「高校生に学んでほしいと思うこと」「安芸太田町の議員はなぜ11人なのか」といった質問が出ました。

4時間目、5グループに分かれ、委員もそれぞれのグループに1人ずつ入り「安芸太田町に住んで良いと思うところ」「改善した方が良くと思うところ」のテーマで意見交換を行ないました。

高校生ならではのユニークな発想や意見を持ち帰り、各委員会に振り分けて協議を進めています。

今後も継続して取組んでいきます!



総務常任委員会

委員会開催 12月10日

陳情審査

新規 陳情第16号

「へき地医療の支えである看護師確保に向け、広島県立加計高等学校に、5年一貫教育による看護師養成課程の新設を求める要望」
●審査結果…継続審査

産業建設常任委員会

委員会開催 10月31日

所管事務調査

産業観光課が取扱う事業の現状と課題について、ヒアリングを実施し今後の重点事務調査及び現地調査の基礎資料とする。

■視察研修 11月27日・28日

道の駅の運営状況を学ぶため、愛媛県内子町の道の駅「内子フレッシュパーク」を視察しました。



道の駅内子フレッシュパークからり

地方創生調査特別委員会

委員会開催 10月23日

道の駅再整備事業

事業計画変更変更についての説明

委員会開催 11月21日

道の駅再整備事業

事業契約変更についての説明

委員会開催 12月10日

道の駅再整備事業

住民説明会の開催状況と内容の説明

筒賀拠点施設整備事業

実施方針についての説明と報告

お知らせ

令和7年10月20日 議員動続35年
総務大臣感謝状が安芸太田町議会
中本正廣議長に贈呈されました。
(東京都 麹町会館に於いて)



中本正廣 議長

編集後記

広報広聴調査特別委員会のメンバーが一新され、一年を迎えようとしています。

これまで、住民の皆様方に議会活動の事を少しでも多くお知らせするとともに、皆様の声を聴くべく新たな活動を心掛け取り組んできました。

引き続き議会活動に、より多くの皆様方のご関心とご理解を頂きますよう委員一同、既存概念にとらわれず、より見やすい広報誌面内容をはじめ、皆様の声を聴くべく、様々な方策を模索研鑽しながら取り組んでいきたいと思っておりますので、今後も深いご理解のもと、よろしくお願いいたします。

大江 昭典

◆広報・広聴調査特別委員会

- 委員長 影井伊久美
- 副委員長 宮本 千春
- 委員 笠井 清孝
- 大江 昭典
- 小島 俊一